

◎アレジオン錠, ○エピナスチン塩酸塩錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】エピナスチン塩酸塩 (U) Epinastine Hydrochloride 【分類】アレルギー性疾患治療剤

【単位】◎10mg・▼20mg/錠

【常用量】10~20mg/日

【用法】分1

【透析患者への投与方法】減量の必要なし。ただし、尿中未変化体排泄率が高い可能性があり10mg/日から開始 (5)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし。ただし、尿中未変化体排泄率が高い可能性があり10mg/日から開始 (5)

【特徴】選択的H1-blocker。血液脳関門を通過しないため、眠気等の中枢神経作用が少ないといわれている。選択的H1-blockerであるが、H2, α 1, α 2, 5-HT2受容体にも親和性を有する (U)

【主な副作用・毒性】眠気、倦怠感、頭痛、嘔気、胃部不快感、口渇、肝機能障害、血小板減少、心悸亢進、発疹など

【吸収】吸収率39.9% (1) 空腹時投与した場合は食後投与よりも血中濃度が高くなる (1) ゆっくり吸収され2峰性になることがある (Ogiso T, et al: Biol Pharm Bull 2001 PMID: 11456119)

【F】39.1% (1)

【tmax】1.9hr (1) 2hr (U)

【代謝】ほとんど代謝されない (1, Kishimoto W, et al: Res Commun Mol Pathol Pharmacol 98: 273-92, 1997 PMID: 9485522)

【排泄】尿中回収率25.4% [ほとんど未変化体] (1) 静注時55% (尿細管分泌が存在)、糞中に30% (U)

【CL】56L/hr (U)

【t1/2】9.2hr (1) 12hr (U)

【蛋白結合率】64.2% (1) 64% (U)

【Vd】8.2L/kg (1) 血液脳関門を通過しない (U)

【MW】285.78

【透析性】Vdが大きいため透析では除去されにくいと思われる (5)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【薬物動態】成人および小児のPPK解析 (Sarashina A, et al: Br J Clin Pharmacol 59: 43-53, 2005 PMID: 15606439)

【OW係数】0.092 [1-オクタノール水系, pH7] (1) 【pKa】11.4 (1)

【小児における情報】成人のPKと同様である (Sarashina A, et al: Br J Clin Pharmacol 2005 PMID: 15606439)

【更新日】20240530

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。